

北部大阪都市計画 箕面船場駅前地区地区計画の変更について

1. 船場地区について
2. 船場地区の地区計画について
3. 現在の地区施設について
4. 地区施設の追加について
5. その他
6. 今後のスケジュールについて

令和4年6月
箕面市みどりまちづくり部まちづくり政策室

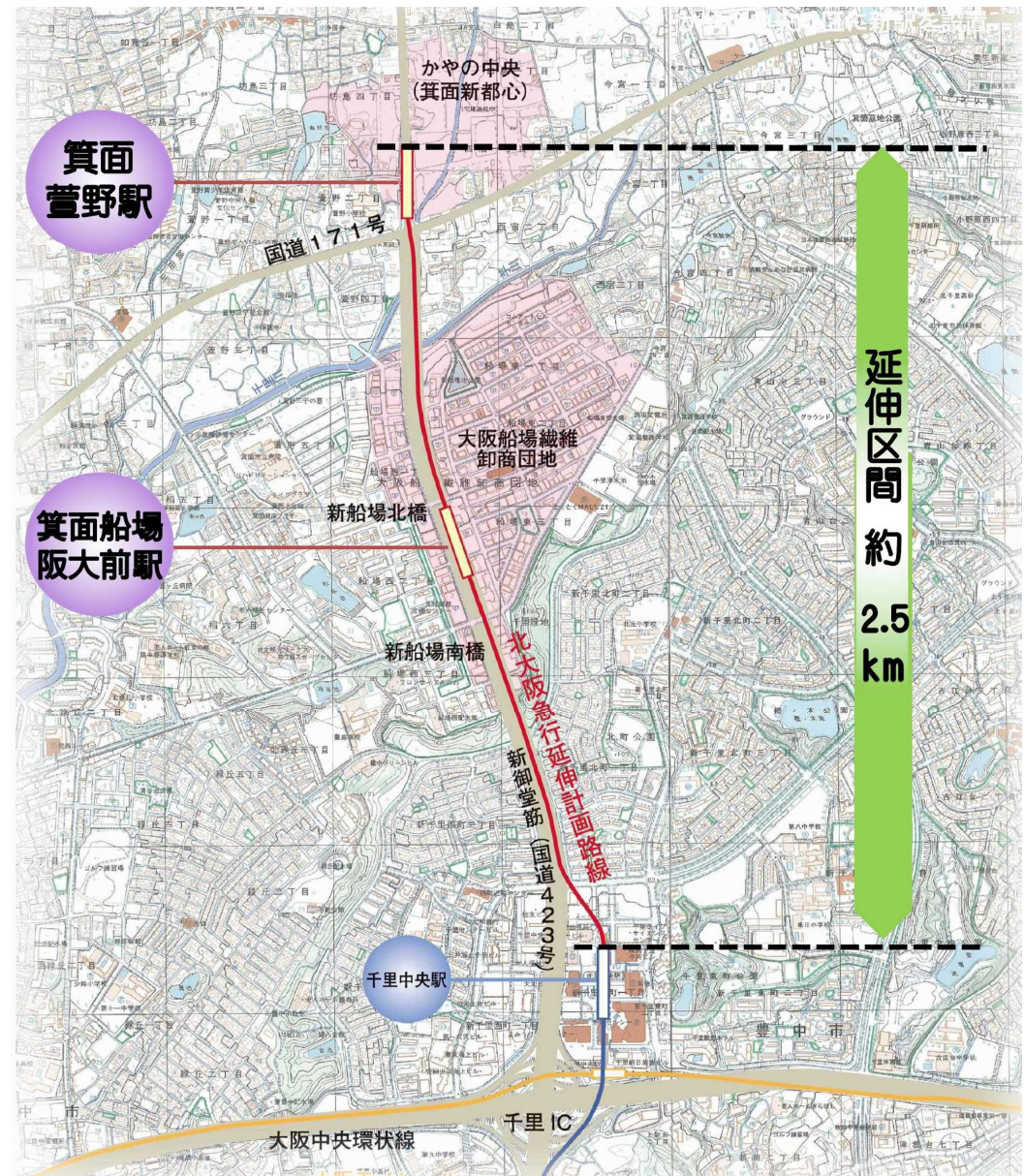
1. 船場地区について

船場地区の概要

船場地区は、本市市街地の中央部に位置し、本市立地適正化計画において中部都市機能誘導区域に位置づけ、都市的発展を想定している地域である。

令和5年度を目標に、御堂筋線（難波、梅田、新大阪等）と直結する北大阪急行線が千里中央駅から「かやの中央地区（箕面新都心）」まで延伸される予定である。

船場地区のほぼ中央部分に新駅「箕面船場阪大前駅」が設置される。



2. 船場地区の地区計画について

『北部大阪都市計画』

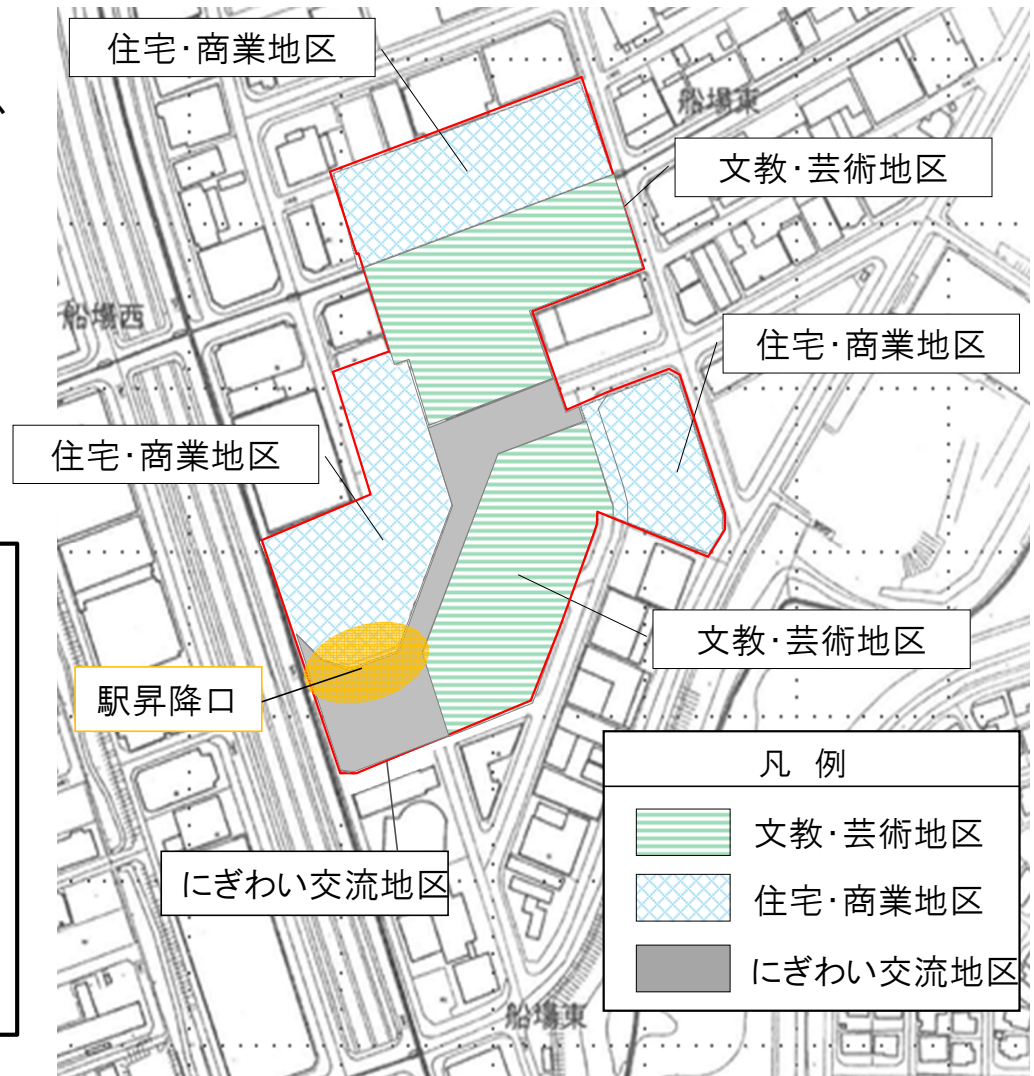
箕面船場駅前地区地区計画』

箕面船場阪大前駅の周辺エリアにおいては、新駅設置を見据えて平成29年に地区計画を定めており、地区内において「文教・芸術」「住宅・商業」「にぎわい交流」というテーマを持たせるなど、駅前に相応しい機能と土地利用を促し、船場地区再生の起爆剤となるまちづくりを目指している。

北大阪急行線の延伸が具体化し、それに伴い新駅の設置が進められる中で、駅前となる本地区では、歩行を中心としたまちを形成しつつ、新駅立地による地区ポテンシャルの向上を活かした土地利用の更なる高度化・多目的化が期待されている。

「地区計画の目標」抜粋

地区計画区域面積：約4.4ha



3. 現在の地区施設について

多目的広場に接続する

歩行者連絡通路

街の中心は2階レベルであり、中央に整備を予定している多目的広場にぎわい、交流の拠点となる。

地区計画においては将来、周辺エリアへ人の動線が広がるように2階レベルで歩行者連絡通路を地区施設として決定している。

2階レベルと地上（1階）レベルとの連絡については、南側に多目的広場からの動線と、北側に歩行者連絡通路からの動線を確保している。



4. 地区施設の追加について

多目的広場と連続する広場の追加

この度、建設予定の商業施設等（民間開発）の計画が具体化し、調整の結果、憩い空間・市民相互の交流空間である現多目的広場と連続し、一体的に利活用できる屋上広場を確保できることになったため、地区計画を変更し、当該広場を地区施設として位置づけることにより、将来にわたってその機能を担保する。



5. その他

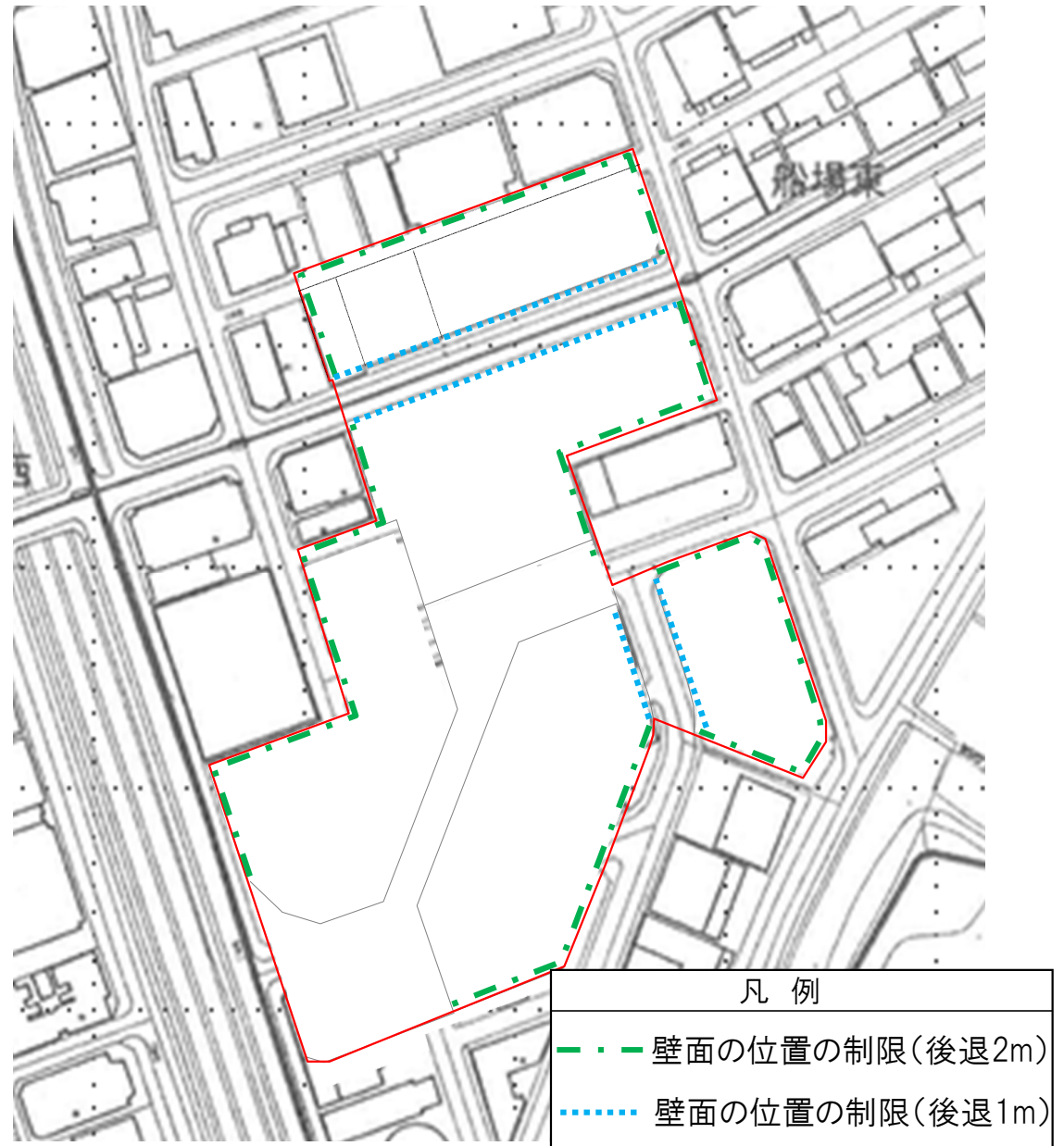
かき又はさくの構造の制限の変更

現地区整備計画において、「かき又はさくの構造の制限」については、「壁面の位置の制限により建築物が後退した範囲内は、建築物、擁壁その他工作物で、道路面の高さより突き出るものを設けてはならない。」と規定されている。

しかし、当該地区においては、景観の向上・安全で快適な通行空間の確保のため無電柱化が計画されており、壁面の位置の制限により建築物が後退した範囲内に無電柱化に必要な設備（地上機器）を設置できるよう、地区整備計画を変更する。

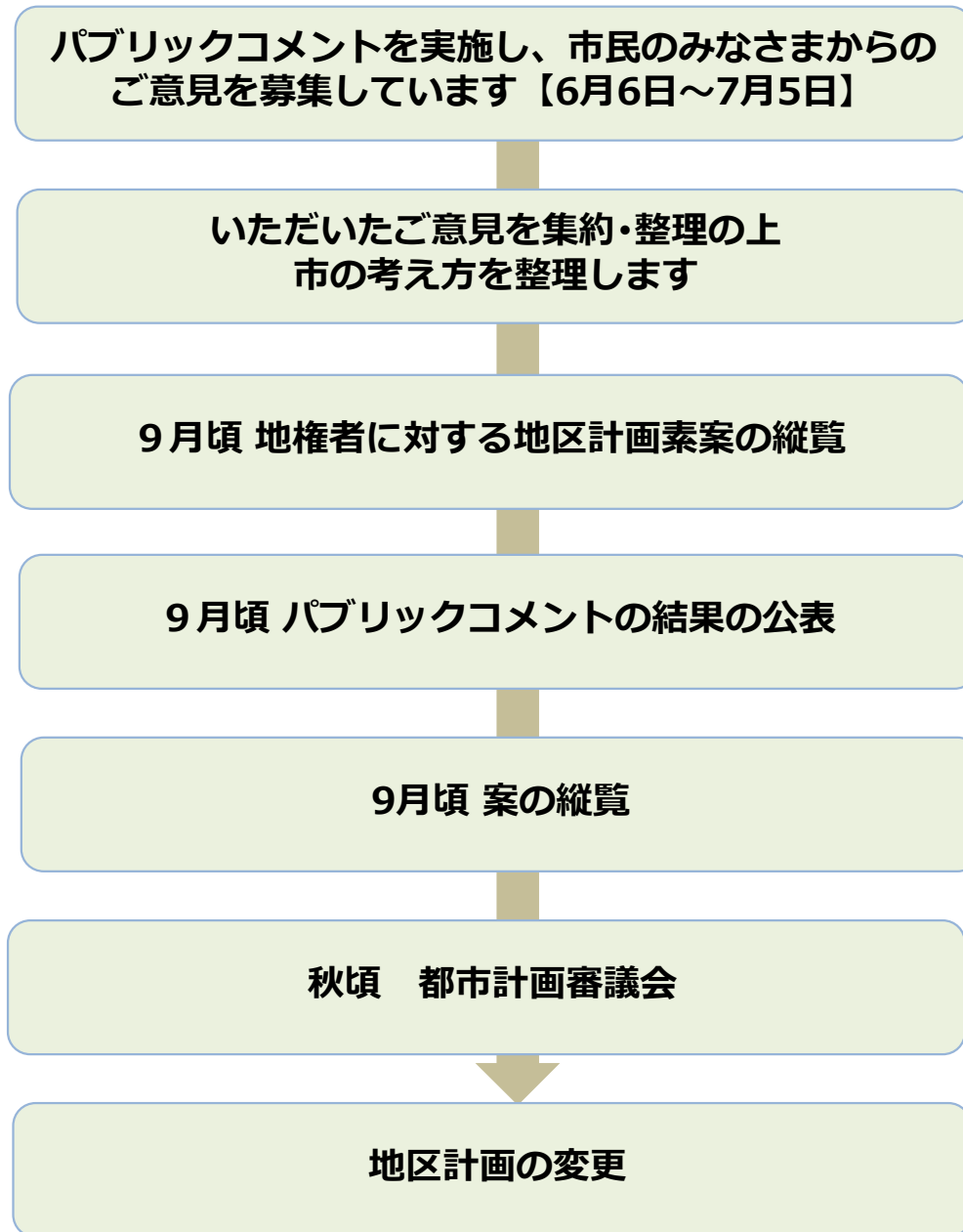


地上機器の設置例



6. 今後のスケジュールについて

以上が地区計画の変更内容です。今後の流れは次のとおりです。



パブリックコメントの資料は、以下の方法でご覧いただけます。

● 市内の各施設で閲覧

- ・ 市役所：まちづくり政策室（別館4F）
行政資料コーナー（別館1F）
- ・ 豊川支所、止々呂美支所
- ・ ライフプラザ（総合保健福祉センター）
- ・ 西南生涯学習センター
- ・ 中央図書館
- ・ 船場図書館
- ・ 東図書館
- ・ みのお市民活動センター

● 市ホームページで閲覧

http://www.city.minoh.lg.jp/machi/senba_e_kimae2022/public_comment.html